



[公益財団法人 アイヌ文化振興・研究推進機構とは…]

平成9年5月、アイヌ文化の振興等を行い、アイヌの人たちの民族としての誇りが尊重される社会の実現と、我が国の文化の多様な発展を図ることを目的とする「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」が制定され、同年7月から施行されました。

当公益財団は、平成9年7月、北海道札幌市内に事務所を、同年9月には東京都内にアイヌ文化交流センターを開設し、この法律に基づき、アイヌ文化の振興、アイヌの伝統やアイヌ文化に関する知識の普及・啓発などの事業を実施しています。

● 公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7(5階)
The Foundation for Research and Promotion of Ainu Culture:(FRPAC)
Presto 1.7 (5F), Kita 1, Nishi 7, Chuo-ku, Sapporo 060-0001 Japan
TEL.011- 271-4171 FAX.011-271-4181
ホームページ <http://www.frpac.or.jp/>
e-mail:ainu@frpac.or.jp

● アイヌ文化交流センター

〒104-0028 東京都中央区八重洲2丁目4号13番 アーバンスクエア八重洲(3階)
Ainu Culture Center, Tokyo
Urban-Square-Yaesu (3F), 4-13, Yaesu2, Chuo-ku, Tokyo 104-0028 Japan
TEL.03-3245-9831 FAX.03-3510-2155
e-mail:acc-tokyo@frpac.or.jp



平成27年度

4月→6月 (vol.1)

アイヌ語 ラジオ講座

石狩方言



STVラジオ

本放送 毎週日曜日 7:00 ~ 7:15 再放送 毎週土曜日 23:00 ~ 23:15

STVラジオのホームページでこれまでの放送を聴くことができます。
<http://www.stv.ne.jp/radio/ainugo/>

講師 中井 貴規

公益財団法人 アイヌ文化振興・研究推進機構

vol.1

はじめに

アイヌ語はアイヌの人たちの独自の言語で、身近に触れているものとして地名があります。アイヌ語の地名は北海道をはじめ、サハリンや千島列島、それに東北地方にも残されています。地名の他にも「エトピリカ」や「ラッコ」、「トナカイ」などアイヌ語と意識されずに使われている言葉があります。

また、アイヌの人たちはユカラをはじめとする多くの優れた口承文芸を伝えてきました。語り継がれてきた物語の中には、自然の中で生きていく知恵や自然との折り合いの付け方などが盛り込まれていることも多く、話を聞くことで、さまざまなことを学べるようになっていきます。

現在では、アイヌ語が日常会話の言葉として使われることはほとんどありませんが、祖先から伝えられた言葉を多くの人たちが話せるようになるよう、いろいろな活動が行われています。

この「アイヌ語ラジオ講座」は、初心者向けのやさしいアイヌ語講座をラジオで放送し、多くの人たちにアイヌ語に触れ、学習する機会を提供するため平成10年から開設しているものです。

平成27年度は4月からの1年間、旭川市出身の中井貴規さんをお迎えし、アイヌ語講座を開設してまいります。

どうぞ、アイヌ語に触れてみて下さい。

平成27年4月

「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.1 目次 テキストは3か月ごとに発行しています。

●講師等の紹介	2P
●講座のスケジュール	3P
●テキスト1～13	4～29P
●収録テープ等の貸出について	30P
●アンケート	31～32P
●会員募集のお知らせ	33P

アイヌ語 ラジオ講座

石狩方言



講師 中井 貴規

公益財団法人 アイヌ文化振興・研究推進機構

vol.1

講師のプロフィール



なか い たかのり
中井 貴規

旭川市に生まれる。現在は白老町在住。アイヌ語指導者育成事業第8期修了生。

2011年から2014年まで、北海道大学アイヌ・先住民研究センターにて技術補佐員として勤務。

現在は、伝承者育成事業第3期生として、白老町にあるアイヌ民族博物館での研修を中心に、アイヌ文化について学んでいる。

支援研究者の紹介

おお た みつる
太田 満

北海道赤平市生まれ。旭川アイヌ語教室等でアイヌ語教育に努める。現在、(公財)アイヌ文化振興・研究推進機構が実施している指導者育成事業、語り部育成事業(旭川・浦河)の講師として、アイヌ語の指導に当たっている。

【このテキストのアイヌ語と表記の仕方について】

現在のところアイヌ語には共通語というものはなく、それぞれの地域でそれぞれの方言が学ばれています。そのため、このテキストでは担当講師の方言(石狩方言)をベースにしています。

アイヌ語ラジオ講座のスケジュール表

月	日	Kampinuye	テーマ	ページ
4月	5日	1	挨拶の表現	4
	12日	2	アイヌ語と方言について	6
	19日	3	文字と発音(1)	8
	26日	4	文字と発音(2)	10
5月	3日	5	アクセント	12
	10日	6	もう春になった - 語順と時制	14
	17日	7	この、その、あの - 指し示す(1)	16
	24日	8	この、その、あの - 指し示す(2)	18
	31日	9	何ですか、誰ですか	20
6月	7日	10	自動詞と他動詞	22
	14日	11	私が - 一人称接辞一人称単数主格	24
	21日	12	お前が - 一人称接辞二人称単数	26
	28日	13	動詞の単数形と複数形(1)	28



例文

1. A: Totekno es=okay ruwe?

トーテクノ エソカイ ルウエー

お元気ですか？

B: Pirka.

ピリカ

いいですよ。

2 A: Pirkano okay yan!

ピリカノ オカヤン

(残る人に) 元気にお過ごし下さい。

B: Iyayraykere!

イヤイライケレ (ヤイライケレー)

有難うございます。

Yaytupareno hosippa yan!

ヤイト[°]パレノ ホシツパ ヤン

(去る人に) 気をつけてお帰り下さい。



単語

アイヌ語	品詞	日本語
hosippa	自動詞	帰る (複数形)
iyáraykere	間投詞	ありがとうございます
okáy	自動詞	いる、ある (複数形)
pírka	自動詞	元気になる、元気である
pírkano	副詞	元気に
tótekno	副詞	健康に
yán	終助詞	～ (し) なさい
yáytupareno (yaítupareno)	副詞	気を付けて



今日の学習

1. 例文 1 について

自分より年下の人一人に言う場合、

Totekno e=an ruwe?
トーテクノ エアン ルウエー

と言います。

また、名前や ekasi「おじいさん」、huci「お婆さん」などと呼びかける時は、

Huci, tokekno an ruwe?
フチー トーテクノ アン ルウエー

などと言います。

2. 例文 2 について

自分より年下の人一人に言う場合、

Pirkano an ya!
ピリカノ アナー

Yaytupareno hosipi ya!
ヤイト[°]パレノ ホシピ ヤー

と言います。

3. 挨拶の言葉について

伝統的な挨拶の言葉と作法はありますが、今の生活で気軽にできる「今日は」、「さようなら」に当る決まった表現というのはありませんでした。そこで、標準的な挨拶をどうするかをアイヌ語教室で話し合った事があります。年寄りにとって一番なじみの深かったのは E=ipe nisa? エイペニサー? 「ご飯食べたか?」で、かつてはこういう言葉を掛けあい、食事がまだなら、とりあえずある物を食べさせる。それはアイヌ同士のみならず、集落にやってきた和人やそれ以外の人達に対しても隔てなく行われていたそうです。アイヌ民族のホスピタリティを示すとてもいい表現ですが、年寄り達は、もうそういう貧しい時代ではないからと言って、定めたのが 1、2 の例文です。この講座ではこれらの表現を用いていきます。また詳しい文法については後の回に順次学んでいきますので、今は暗記して使って下さい。

最後に、伝統的な挨拶として二つ紹介します。

①成人男性同士の正式な挨拶では、対面した者同士 onkami オンカミと言って両手を胸の下あたりで幾度かゆっくり左右に揺らし掌をすり合わせた後に、掌を上に向けまた幾度かゆっくり上下させる動作をします。その後に雅語という日常使うものとは違った上品な言葉で、しかも節をつけて謡う形で挨拶の言葉が述べられます。この冒頭に irankarapte イランカラッテ 「ご挨拶申し上げます」が用いられます。とても良い言葉であり、現在では「今日は」に当る言葉として広く用いられています。旭川の親子アイヌ語教室でも、子供達はまずこの言葉で挨拶するようにしています。但し、本来は先述のとおり成人男性の使うものですが、言葉だけで終わるものではありませんから、それに反した使い方をすると、かえって礼を失し、伝統をよく知った年寄から注意される事もありますので、気をつけて下さい。

②女性同士の挨拶として両手を取り合って軽く振る uekap ウエカフ という作法が今でも残っています。

この際

hi ya ヒーヤー

という言葉が発せられます。またこの挨拶は踊りとして旭川で大切に伝承されています。



アイヌ語は北海道をはじめ、かつては本州東北部、千島列島、サハリンなど広い地域で使われていた、日本語とは異なる言葉です。アイヌの多くが日本人とされ、同化政策がとられる中で、一時アイヌ語も消滅する運命のごとく言われた時期もありましたが、それを守り伝えようという人達の努力によって、最近復興の兆しが見え始めています。基本的に一つのアイヌ語でも、多くの方言に分かれています。大きく分ければ北海道方言、樺太方言、北千島方言、それに単語の断片を残し消滅した本州東北部の方言です。北海道の方言は更に北東方言と南西方言の二つに大きく分かれます。これから1年学ぶ石狩方言は十勝方言や釧路方言などと同じく北東方言に属します。

目下標準語はありませんから、アイヌ語を学ぶといっても、先に見た方言のどれかを学ぶことになるでしょう。



石狩方言について

かつて川は交通の要であり、その川筋に沿ってアイヌの集団の多くが形成されました。石狩川は延長 268km に及ぶ北海道一の大河であり、その流域には大小幾つもの集団がありました。旭川では大きく三つの集団、つまり神居古潭より上流、現在の旭川市を中心に居住した peniunkur ペニウングル、神居古潭より下流、現在の滝川市、新十津川町を中心に居住した paniunkur パニウングル、石狩川下流域に居住した paratouunkur パラトウングル と分けましたが、何れも有事の際には団結し、旭川の人であっても他の地方の人に対しては誇りを持って iskarunkur イシカルンクル と自らを呼びました。この事実をふまえ浅井亨先生は「石狩方言」と名付けました。今後アイヌの伝統を尊ぶ人は iskarunkur iposse イシカルンクル イボッセ 「石狩方言」の名を用いる事にします。その歴史的分類は以下の通りです。

比布方言 (婚姻関係などから天塩川筋の方言と関係がある)

上川方言

旭川方言 (本来の「旭川方言」の他、系統の異なる北見系の方言と十勝系の方言がある)

兩竜方言 (人の往来があり天塩川筋の方言と関係がある)

石狩方言 **空知方言**

新十津川方言 (人の往来、婚姻関係などから浜益、千歳の方言と関係がある)

石狩川下流方言

(原住民の多くは死滅させられており不明。幕末期には上川、空知の者が魚場の労働に従事させられていた。明治のはじめ札幌に住んでいた者で、旭川市に移住した者がいるが、今日の旭川方言にもそれが幾分反映されていると考えられる。)

メモ



1. アクセントについて

例えばロシア語では「苦しみ」と「粉」は文字の上では `мыка` ですが、

「苦しみ」は `мы́ка`

「粉」は `мыкá`

とアクセントで区別します。この際「苦しみ」は最初の音節が強く、次が弱く発音されているのに対し、「粉」は最初の音節が弱く、次が強く発音されます。こういう音の強弱によるアクセントを「強勢アクセント」と言います。英語などのアクセントもこの「強勢アクセント」です。

それに対し日本語の標準語では「箸」と「橋」のように同じ音であっても

「箸」は `はし`

「橋」は `はし`

といった具合にアクセントのある音節（下線を引いたもの）を高く発音し、その位置によって区別を行います。こういうアクセントを「高低アクセント」と言います。

アイヌ語のアクセントは日本語同様に「高低アクセント」です。

日本語にもアクセントが重要ではない、つまりアクセントの位置による意味の区別がない方言があるように、アイヌ語にもアクセントが重要ではない方言もあります。しかし今皆さんが学んでいる石狩方言はアクセントが重要な方言です。例えば

`néan` `ネアン` 「その」

`neán` `ネアン` 「どの」

のように、アクセントの位置によって意味が区別される言葉があります。ですから単語を覚える際はアクセントもしっかり覚えなければなりません。しかし、アクセントの位置については大部分の言葉が規則的なものなので、それ程難しくはありません。これについては音節の説明の後に述べます。

尚、アイヌ語も日本語も高低アクセントですが、前者がどこで高くなるかが重要なものに対し、後者はどこで低くなるかが重要な点で違いがあります。

メモ



2. 音節について

音節とは一個の母音、あるいはその母音の前後に幾つの子音を伴う音声のまとまりです。アイヌ語で言えば

- | | | |
|-----------------|-----|-----------|
| ①母音 (V) | á | 「座る」 |
| ②子音+母音 (CV) | tá | 「～を掘って採る」 |
| ③母音+子音 (VC) | át | 「紐」 |
| ④子音+母音+子音 (CVC) | tát | 「樺の木の皮」 |

があります。この中で①と②を「開音節」、③と④を「閉音節」と呼びます。

※注Vは英語の vowel、Cは同じく consonant の頭文字をとった記号で、それぞれ母音、子音を表して用いられます。



3. アイヌ語のアクセントの位置

アイヌ語の単語には多くにアクセントがあります。(2)の音節の説明中に例で挙げた単語のように音節が一つの単語はそこ以外にアクセントがあり得ませんからすぐ分ります。それでは二音節以上の単語はどうなるのかという

①**第一音節が開音節の場合、アクセントは次のように第二音節に置かれます。**

- | | | | |
|-------|-------------------------|-------|----------|
| (二音節) | ka - <u>múy</u> | カムイ | 「神」 |
| (三音節) | i - <u>rús</u> - ka | イルシカ | 「怒る」 |
| (四音節) | u - <u>é</u> - yam - no | ウエヤムノ | 「互いに仲良く」 |

②**第一音節が閉音節の場合、アクセントは次のように第一音節に置かれます。**

- | | | | |
|-------|----------------------------|--------|----------|
| (二音節) | <u>áy</u> - nu | アイヌ | 「人間」 |
| (三音節) | <u>hém</u> - pak - pe | ヘンパクペ | 「幾つ」 |
| (四音節) | <u>yáy</u> - kat - ci - pi | ヤイカッチピ | 「生まれ変わる」 |

のようになります。

③**例外的に第一音節が開音節なのにアクセントが第一音節に置かれるものがありますが、これは個々に覚える必要があります。**

- | | | |
|---------------|----|-----|
| <u>ké</u> -ra | ケラ | 「味」 |
| <u>ré</u> -ra | レラ | 「風」 |

今後このテキストでは単語の欄でアクセントの位置を表示していきます。

メモ



例文

A: Tane paykar an.

タネ パイカラアン。

もう春になった。

B: Numan sirpirka. Tanto ka sirpirka.

ヌマン シリピリカ。 タントカ シリピリカ。

昨日は天気良かった。今日も天気が良い。

Sonno sirpopke!

ソーンノ シリポプケ!

とーつてもあたたかい!

A: Nisatta anakne ruyampe as.

ニサッタアナクネ ルヤンベアシ。

明日は雨が降る。

B: Sonno?

ソーンノ?

ほんとー?



単語

アイヌ語	品詞	日本語
án	アン	自動詞 (季節、時間帯に) なる
anákne	アナクネ	副助詞 ~は、~というもの
ás	アシ	自動詞 (雨が) 降る、立つ
ka	カ	副助詞 ~も
nisáttá	ニサッタ	副詞 明日
núman	ヌマン	副詞 昨日
ruyámpe	ルヤンペ	名詞 雨
sírpirka	シリピリカ	〇項動詞 天気良くなる、天気が良い
síropke	シリポプケ	〇項動詞 あたたかくなる、あたたかい
sónno	ソーンノ	副詞 本当に、とても
tané	タネ	副詞 今、もう
tánto	タント	副詞 今日



今日の学習

1. アイヌ語の語順

厳密に言うと、アイヌ語の語順は日本語とは違います。それについては今後学習していきますが、今のところ日本語と同じく、主語・目的語・動詞の語順になると理解しておいて下さい。

2. アイヌ語の時制

例文に見るように、「天気良かった」、「天気が良い」と日本語では違いがありますが、アイヌ語では同じく sirpirka です。つまりアイヌ語では過去とか現在とか、時制によって動詞の形が変わりません。それは numan 「昨日」とか tanto 「今日」という副詞によって表されます。

3. 副助詞 ka と anakne

副助詞とは助詞の一種で、非自立語、つまりそれ単独で使われることがなく、単語に付加されます。ka は日本語の「も」の意味ですが、eper ka ku=nukar ka erameskari エベレカ クヌカラカ エラメシカリ「クマも私は見たこともなかった」のように、日本語以上に一つの文に繰り返し使えます。anakne は「～は」と訳されることがありますが、何かを取り立てて「～というもの」という意味の言葉で、sake anakne somo ku=ku サケアナクネ ソモクク 「私は酒を飲まない」という文の場合の anakne は「～を」と訳せます。

4. ruyampe as という表現について

as は「立つ」という意味の動詞ですが、例文のように ruyampe 「雨」の他、apto アプト「豪雨」、upas ウバシ「雪」などが「降る」という意味で使われます。その他 rera レラ「風」の場合には「吹く」という意味で使われます。変わってると思うかも知れませんが、日本語も古くは「風たちぬ」など、「立つ」という動詞がアイヌ語と同じように使われていました。

メモ



例文

1. A: Tan hure itanki wen.
タンフレイタンキ ウエン。
この赤いお椀はだめだ。
- B: Taan kunne itanki anakne pirka.
タアンクンネイタンキアナクネ ピリカ。
その黒いお椀はいい。
-
2. A: Toan cise poro.
トアンチセ ポロ。
あの家は大きい。
- B: Toan cise somo poro. Pon!
トアンチセ ソモポロ。ポーン!
あの家は大きくない。小さい!
- A: Somo! Poro!
ソモー! ポロー!
いいや! 大きい!



単語

アイヌ語	品詞	日本語
cisé	チセ	名詞 家
húre	フレ	自動詞 赤くなる、赤い
itánki	イタンキ	名詞 お椀
kúnne	クンネ	自動詞 黒くなる、黒い
pírka	ピリカ	自動詞 良くなる、良い
pón	ボン	自動詞 小さくなる、小さい
poró	ポロ	自動詞 大きくなる、大きい
somó	ソモ	副詞 ~ない
tán	タン	連体詞 この
taán	タアン	連体詞 その
toán	トアン	連体詞 あの
wén	ウエン	自動詞 悪くなる、悪い



今日の学習

1. 連体詞

連体詞とは、名詞を修飾し述語にならない品詞です。この課では tan タン「この」、taan タアン「その」、toan トアン「あの」がそれに当たります。それに対して例文1の hure フレ「赤い」、kunge クンネ「黒い」は動詞(自動詞)です。形容詞じゃないの?と思われた人もいるかも知れませんが、例えば hure フレ は hure itanki フレ イタンキ「赤い・お椀」と名詞を修飾するだけでなく、itanki hure イタンキ フレ「お椀が・赤い」と述語としても使えます。しかし、例えば tan タンは itanki tan とは言えません。

2. tan, taan, toan について

一応、日本語の「これ」、「それ」、「あれ」で使われています。tan は手の届く範囲の、taan は遠く手が届かない範囲の、toan はそれよりずっと遠い範囲のということになります。これらは実際に目に見える何かを指し示して使います。日本語では一度話題になったものを指し、「その」、また話し手と聞き手が双方了解しているものを指し「あの」を使いますが、アイヌ語でそれらは ne ネ、nea ネア、nean ネアンなどという全く別の連体詞を使いますので注意して下さい。

3. 否定文

somo は「~ない」という否定の副詞で、例文2の somo poro のように、動詞の直前に置かれます。日本語では「大きく・ない」と否定の言葉は動詞の後に置かれますから、語順が異なることになります。基本的に、この動詞を否定する somo と動詞の間にはいかなる言葉も入れることができません。

メモ



例文

A: Tampe pukusakina ne ya?

タンベ プクサキナネヤ?

これはニリンソウですか?

B: E.

エー。

はい。

A: Toampe kito ne ya?

トアンベ キトネヤ?

あれはギョウジャニンニクですか?

B: Toampe he? Somo. Setapukusa ne.

トアンベヘー? ソモ。セタプクサネ。

あれかい? いや。スズランだ。



単語

アイヌ語	品詞	日本語
é	間投詞	はい
hé	副助詞	～かい
kitó	名詞	ギョウジャニンニクの莖葉
né	他動詞	～です、～になる
pukúsakina	名詞	ニリンソウの莖葉
setápukusa	名詞	スズランの莖葉
támpe	代名詞	これ
taámpe	代名詞	それ
toámpe	代名詞	あれ
yá	終助詞	～か



今日の学習

1. tampe, taampe, toampe について

何かを指し示して「これ」、「それ」、「あの」という言葉が tampe、taampe、toampe です。前回の Kampinuye7 で tan 「この」、taan 「その」、toan 「あの」という連体詞を学びましたが、それらと「もの、事」を意味する pe でできています。つまり、

tan 「この」 + pe 「もの、事」 → tampe 「これ」

taan 「その」 + pe 「もの、事」 → taampe 「それ」

toan 「あの」 + pe 「もの、事」 → toampe 「あれ」

です。nがmになっているのは、石狩方言の正書法では合成語のpの前のnはmと綴ると決めたからです。

2. 疑問詞のない疑問文

一番簡単な疑問文の作り方は、語尾を尻上がりに発音する事です。例えば

Tampe pukusakina ne ?

Tampe kito ?

Kito ?

と尻上がりに発音すればいいのです。これに対して疑問である事をはっきりさせるため、例文のように ya とか he という言葉を使います。日本語の「～か」に当たりますが、この二つの言葉は用法が違います。つまり ya は

Tampe pukusakina ne **ya** ? 「これはニリンソウですか?」

のように基本的に動詞の後に置かれますが、he は

Tampe **he** ? 「これか?」

Pukusakina **he** ? 「ニリンソウか?」

Tampe pukusakina ne **he** ? 「これはニリンソウですか?」

のように尋ねたい言葉の後に置かれます。

疑問に対する答え、肯定して「はい」と答える場合、現在では e が、否定して「いいえ」と答える場合は somo が使われます。

メモ



例文

1. Tampe nepe a?
タンペ ネペアー?

これはなにに?

Yukkam ne.

ユツカムネ。

シカの肉です。

2. Tampe nep ta an?
タンペ ネプタアン?

これは何ですか?

Kamuyharu ne.

カムイハルネ。

クマの肉です。

3. Tankur nenehe?
タンクル ネネヘー?

この人はだーれ?

Ipakasnukur ne.

イパカシヌクンネ。

先生です。

4. Tankur nen ta an?
タンクル ネンタアン?

この人は誰ですか?

Kurmat ne.

クルマツネ。

和人の女性です。



単語

アイヌ語	品詞	日本語
á	アー	終助詞 ~か
án	アン	自動詞 ある、いる
ipákasnukur	イパカシヌクル	名詞 先生
kamúyharu	カムイハル	名詞 クマ肉
kúrvat	クルマツ	名詞 和人の女性
nén	ネン	名詞：疑問詞 何
nép	ネプ	名詞：疑問詞 誰
ta	タ	副助詞 (直前の語を強める副助詞)
támpe	タンペ	代名詞 これ
tánkur	タンクル	代名詞 この人
yúkkam	ユツカム	名詞 シカ肉



今日の学習

1. 疑問詞 nep, nen について

nep 「何」、nen 「誰」という意味の言葉ですが、例文2、4でこれらを使った表現の他、例文1では nepe が「何」、例文3では nenehe が「誰」という意味で出てきます。実は例文1、3の中の nepe や nenehe こそが、「これは何?」とか「これは誰?」という文で実際使われていたものです。疑問詞はアイヌ語の中でも方言差が大きいのですが、nepe や、特に nenehe は他の方言には見られないもので、現在は他の方言を使う人と会話する機会が多いため、相互の理解を容易にするため他方言から取り入れた新しい形式が例文2と4なのです。かつてアイヌ語教室などで話し合われたのですが、年寄り達は nep ta an は理解できるがこの言い方ではない、nepe a だ!と強く主張しました。尤もな事ですから、地元では nepe、nenehe を使い、なり行にまかせつつ、当面他所の人に nep、nen を使うことにしたものです。

nepe と nenehe は一体何かというと、実は nep や nen に、Kampinuye8 で学んだ疑問の副助詞 he が付いたものです。Kampinuye3 の子音に関する注意する点②で触れたように、石狩方言では子音hがよく落ちます。つまり nep he 「ネペヘ」、nen he 「ネンヘ」のhが落ちて「ネペ」や「ネネ」となっているわけです。ただし何故か「ネペヘ」、「ネンヘ」という発音はこれまで確認されません。そこで nepe や nene と綴ります。では nenehe は何でしょうか。これは he の他「～時、もの、事」を意味する hi ヒに関して ehe エヘ、ihi イヒという形が石狩方言には現れます。nenehe の ehe です。不思議な事に nen では nene と nenehe の両方の形があるのに、nep では nepe はあっても nepehe は全く確認されない事です。

2. tankur について

Kampinuye8 で tampe 「これ」が tan と pe という言葉からできていると学びました。tankur の tan が「その」ですから kur は「人」という意味だと分かるでしょう。この pe や kur は形式名詞と呼ばれるものですが、詳しくは後で学びます。

今回の例文では tankur 「この人」だけですが、その他については taankur タアングル「その人」、toankur トアングル「あの人」となります。

3. 注意する発音

例文3で Ipakasnukur ne. が「イパカシヌクルネ」ではなく「イパカシヌクンネ」となっています。二つの子音が連続する場合、子音nや子音rの前の子音rはnに変化するという決まりがあるからです。つまり、

r n → n n

r r → n n

です。先の文を一語ずつ区切るようにゆっくり発音すれば「イパカシヌクル ネ」となります。

メモ



例文

- Ekasi iku.
エカシ イク。
お爺さんが酒を飲む。

- Ekasi newa huci newa kamus okkayo newa sattek menoko iku.
エカシネワ フチネワ カムソツカヨネワ サツテクメノコ イク。
お爺さんとお婆さんと太った男と痩せた女が酒を飲む。

- Huci tonoto ku.
フチ トノトク。
お婆さんが酒を飲む。

- Ekasi huci parkarpe kure.
エカシ フチ パラカラベクレ。
お爺さんがお婆さんに焼酎を飲ませる。



単語

アイヌ語	品詞	日本語
ékasi	名詞	お爺さん、老人
húci	名詞	お婆さん、老婆
ikú	自動詞	酒を飲む
kámus	自動詞	太る、太っている
kú	他動詞	～を飲む
kúre	他動詞	～に～を飲ませる
menóko	名詞	女
newa	副助詞	～と～
ókkayo	名詞	男
pákarpe	名詞	焼酎
saké	名詞	酒、日本酒
sáttek	自動詞	痩せる、痩せている
tónoto	名詞	酒、濁酒



今日の学習

1. アイヌ語の動詞の複雑さと大切さ

英語など外国語を学んだことのある人は大勢いると思いますが、ある言葉が動詞という事は覚えてもその動詞が自動詞なのか他動詞なのかまで覚える人は少ないでしょう。それは必要がないからです。また日本語のように自動詞他動詞の区別が曖昧な言語もあります。日本語は「て」「に」「を」「は」によって文中の言葉の関係は明らかです。ところがアイヌ語には「て」「に」「を」「は」に当たる言葉は非常に少ないのです。例文では全くそれがありません。けれどそれで困らないのはこれから説明する自動詞と他動詞の使い分けによるものです。

2. 自動詞

例文1と2が自動詞を使った文例です。

主語	述語
ékasi	iku.
お爺さんが	酒を飲む。

ここで、ekasi という名詞が主語、iku という動詞が述語です。このように**主語しかとらない動詞が自動詞です**。この主語の部分、例文で言えば「お爺さん」の部分の一つの箱と考えましょう。一つの箱の中に例文では ekasi 「お爺さん」という単語一つだけですが、

主語	述語
Ekasi newa huci	iku.
お爺さんとお婆さんが	酒を飲む。

という文では ekasi と huci と二つの名詞が主語となっています。例文2では更に名詞の数は多いのですが、一つなのは名詞を入れる主語の箱の数であって、名詞の数ではないので、間違わないようにしましょう。

3. 他動詞

例文3と4が他動詞を使った文例です。例文3を取り上げてみましょう。

主語	目的語	述語
Ekasi	tonoto	ku.
お爺さんが	酒	を飲む。

ここでは、ekasi という名詞が主語で ku という動詞が述語ですが、ku は「～を飲む」という意味なので、飲む物、tonoto という名詞が目的語となっています。このように**主語と目的語をとる動詞が他動詞です**。先ほどの箱の話をするれば、ku は主語と目的語の二つの箱を持っていることになります。他動詞全てが同じであれば楽なのですが、例文4で

主語	目的語	目的語	述語
Ekasi	huci	parkarpe	kure.
お爺さんが	お婆さん	に 焼酎	を飲ませる。

と kure が目的語の箱を二つ持っているように、目的語の箱を複数持っている他動詞もあるので注意が必要です。

4. 連音

例文2で kamus okkayo が「カムソツカヨ」と発音されています。アイヌ語では子音で終わる単語も多いのですが、それらの後に母音で始まる単語がくると、よく連音が起こります。単語を覚えても、実際の音を聞くとなかなか聞き取れない事もあります。これは多くの音を聞き、自分でも発音しながら身に付けるしかありません。

私が — 人称接辞一人称単数主格



例文

A: Tampe ku=kor sisakpe ne.

タンペ クコロシサクペネ。

これは私のお宝だ。

B: Mh, sonno pirka!

ンフ、ソーンピリカ!

ふむ、とても素晴らしい!

Easir ku=nukar.

エアシリ クヌカラ。

私はそれを初めて見た。



単語

アイヌ語		品詞	日本語
eásir	エアシリ	副詞	初めて
kór	コロ	他動詞	～を持つ
ku=	ク	人称接辞	私が
mh	ンフ	間投詞	(感心して) ふむ
nukár	ヌカラ	他動詞	～を見る
sisákpe	シサクペ	名詞	珍宝、逸品



今日の学習

1. 主格とは

簡単に言えば、主語の時の形を示していると考えて下さい。

2. 人称とは

人称とは話し手、聞き手、それ以外を区別するもので、例文では話し手の「私」を一人称、聞き手の「お前」を二人称、それ以外の「彼／彼女」を三人称と言います。「私」「お前」「彼／彼女」はそれぞれ一人ですから単数と言います。

3. 接辞とは

接辞とは単独で使われず、簡単に言えば、いろいろな役割で単語などにくっ付けるものを言います。

4. 人称接辞とは

先に説明した事から「私」とか「お前」とかの意味で単語にくっつくものだという事が何となく分かったと思います。

では例を見てみましょう。例文には ku=kor と ku=nukar の ku= というのが「私が」の意味で動詞の前に付く人称接辞です。付いている訳ですから、例えば ku=kor は「私が～を持つ」、ku=nukar は「私が～を見る」という一つの言葉であって、ローマ字で記す時に使われる = の記号はそれを表しています。基本的に人称接辞と動詞の間に別の言葉が入ることはありません。だから例えば「私はお宝を見ない」と言う時、

Sisakpe somo ku=nukar. シサクペ ソモクヌカラ。

と副詞 somo が ku=nukar の前に置かれ、ku=somo nukar とはならないのです。

さて日本語は人称を表す言葉を省きがちです。ところがアイヌ語の人称接辞は基本的に省かれませんが、例文に Easir ku=nukar. とありますが、「それ」に当たる言葉はありません。実はアイヌ語では「それが」とか「それを」などという三人称の接辞は ku= などの接辞が付かない事で表されます。ですから ku= を省いて Easir nukar. と言うと、「彼／彼女 がそれを見る」となってしまいます。ですから何度繰り返そうが、動詞には必要な人称接辞が付けられるのです。

5. 人称接辞とアクセントの関係

アクセントについてはKampinuye5で学びました。例えば nukár ヌカラ は第二音節 kar にアクセントがあります。ところが、ku=nukar 「私が～を見る」と人称接辞が付くと、ku=núkar クヌカラ とアクセントが一つ前の音節へ移動します。このように人称接辞が付くことで、二音節以上の単語ではアクセントの移動があります。

メモ

お前が — 人称接辞二人称単数



例文

A: Nep e=kar ya?

ネブエカラー？

何作ってるの？

B: Cispo ku=kar.

チシポ クカラ。

針入れ作ってる。

A: Kuani ka teeta cispo ku=kar korka eani anakne sonno e=askay!

クアニカ テエタ チシポクカラコロカ、エアニアナクネ ソンノエアシカイ！

俺も以前針入れ作ったけど、お前は本当に上手だな！

B: Somo. Ku=aykap.

ソモ。クアイカブ。

いや。下手だ。

A: Somo somo! Teketok kor kur e=ne.

ソモソモ！テケトツコロクル エネー。

いやいや！お前は腕が立つ。

B: Teketok ka sak pe ku=ne.

テケトツカサクペ クネ。

俺は腕が立たない。



単語

アイヌ語	品詞	日本語
áskay	アシカイ	自動詞 上手である
áykap	アイカブ	自動詞 下手である
cispo	チシポ	名詞 針入れ
e=	エ	人称接辞 お前が
eáni	エアニ	人称代名詞 お前
kár	カラ	他動詞 ~を作る
korka	コロカ	接続助詞 ~ (だ) けれど

アイヌ語	品詞	日本語
kuáni	クアニ	人称代名詞 私
kur	クル	形式名詞 人
pe	ペ	形式名詞 者、物、事
sák	サク	他動詞 ~を持たない、~がない
teéta	テエタ	副詞 以前
tekétok	テケトク	場所名詞 手先の器用さ



今日の学習

1. 人称接辞と人称代名詞

Kampinuye11 で人称接辞について詳しく学びました。アイヌ語では普通、「私」とかいう言葉は動詞に接辞の形で一体化するのです。今回の例文では「私が」という ku= に加え、「お前が」を意味する e= が出て来ています。e= について他の方言では「あなたが」として教えられるようですが、石狩方言では日常の会話の言葉で同輩や目下の者に使います。ただし、「あなたが」に相当する表現をするためにはあと幾つかの文法項目を学ばなければいけません。ですからそれを学ぶまでは e= を使って下さい。

ところで ku= や e= の他に、kuani 「私」、eani 「お前」という言葉が出て来ています。これらは人称代名詞です。日本語の「私」と同じですが、アイヌ語では非常に限られた使い方しかされません。その一つが ka 「~も」、anakne 「~というもの」という副助詞と一緒に使うというものです。しかし例文で明らかのように、代名詞を使っても動詞に付けられるべき人称接辞が省かれる事はありません。

2. 形式名詞

これまで pe や kur は度々出て来ました。合成語の一部となったり、文章中動詞の後に置かれ「~(する)もの、事」や「~(する)人」となるのは日本語に似ています。しかし形式名詞と聞きなれぬ品詞に分類されます。例えば「人」を意味する言葉として aynu アイヌがあります。これは自立語として aynu an アイヌアン「人がいる」とも aynu ku=nukar アイヌ クヌカラ「私は人を見る」とも言えます。ところが kur はそういう使い方ができません。このように意味的には名詞だが、単独で使えないものを形式名詞と言うのです。ここで特に注意が必要なのは pe です。例えば

pirka p ku=nukar ピリカブ クヌカラ 「私は美しいものを見る」

wen pe ku=nukar ウエンペ クヌカラ 「私は醜いものを見る」

という二つの文に「もの」の意味で p と pe と二つが現れます。このどちらが使われるかには法則があります。pirka は語尾が a という母音です。wen は語尾が n という子音です。つまり母音の後では p、子音の後では pe なのです。

3. 注意する発音

例文中、Nep e=kar ya? ネブ エカラ ヤが「ネブエカラー」と発音されています。勿論ゆっくり一語ずつ区切れば「ネブ エカラ ヤー」となります。普通の発音の速さだと kar に ya が続くと、文字通りに発音すれば「カリヤー」ですが、この「リヤ」というような拗音(ねじれる音)をアイヌ語は嫌います。そこで y の音を落して ra「ラ」とするのです。こういう事は他の音でも起こります。

動詞の単数形と複数形 (1)



例文

- Okkayo an.
オッカヨ アン。
男が一人いる。

- Wen eper okay.
ウェネペレ オカイ。
悪いクマが複数いた。

- Utar opitta hoyuppa, kira korka iyotta
ウタロピッタ ホユツパ、キラコロカ イヨツタ
仲間全員が走って逃げたけれど、一番
iosi honiporo menoko hoyupu, ek.
イオシ ホニポロメノコ ホユプ、エク。
後ろから妊娠した女性が走って来た。



単語

アイヌ語	品詞	日本語
án	自動詞	(複数形) okáy オカイ (表3を見よ)
ék	自動詞	(複数形) árki アラキ (表3を見よ)
epér	名詞	クマ
honiporo	自動詞	妊娠する、妊娠している
hoyúpu	自動詞	(複数形) hoyúppa ホユツパ (表1を参照)
iósi	副詞	後から
iyóttá	副詞	一番、最も
kirá	自動詞	逃げる
opítta	後置副詞	～の全て、～の全員
utâr	名詞	仲間



今日の学習

1. 動詞の単数形と複数形

アイヌ語の動詞は単数形と複数形があります。意味的に複数形がないもの、あるいは逆に複数形しかないものもありますが多くの動詞には基本的に単数形と複数形があります。単数形、複数形を決める要因は一つではないのですが、基本的には主語の数です。例文1、2で menoko や eper が単数が複数かは動詞の形から明らかです。

動詞の複数形の作り方は幾つかありますが、変化Iは単数形の語尾に pa を付けます。例えば、
kira → kirapa

です。しかし例文3に見られるように hoyuppa が主語の数に合わせて複数形なのに、kira はそうなっていません。何故か規則変化する動詞は複数形にならない事が多いのです。

変化IIは単数形の一番最後の母音を外し pa を付けます。次に幾つか例を挙げてみましょう。

(表1)

単数形		複数形		日本語
aní	アニ	ámpa	アンパ	～を手に持つ (他動詞)
carí	チャリ	cárpa	チャラパ	～を撒き散らす (他動詞)
hosípi	ホシピ	hosíppa	ホシツパ	帰る (自動詞)
hoyúpu	ホユプ	hoyúppa	ホユツパ	走る (自動詞)

変化IIIは単数形の語尾 n が p と代わるものです。これは以下の自動詞だけです。

(表2)

単数形		複数形		日本語
ahún	アフン	ahúp	アフブ	入る
asín	アシン	asíp	アシブ	出る
rán	ラン	ráp	ラブ	上がる
rikín	リキン	rikíp	リキブ	下がる
sán	サン	sáp	サブ	出る、下る
yán	ヤン	yáp	ヤブ	上陸する

変化IVは不規則変化で、きっちり覚えなければなりません。

(表3)

単数形		複数形		日本語
á	ア	rók	ロク	座る (自動詞)
án	アン	okáy	オカイ	ある、いる (自動詞)
ás	アシ	róski	ロスキ	立つ (自動詞)
así	アシ	róski	ロスキ	～を立てる (他動詞)
ék	エク	árki	アラキ	来る (自動詞)
omán	オマン	payé	パイエ	行く (自動詞)
ománan	オマナン	payékay payókay	パイエカイ パヨカイ	歩き回る (自動詞)
ráyke	ライケ	rónnu (注1)	ロンヌ	～を殺す (他動詞)

(注1) 石狩方言では、実際にはほとんど使われない。

アイヌ語ラジオ講座収録テープ及びミニディスク(MD)の貸出しについて

1. 利用時間

(公財)アイヌ文化振興・研究推進機構:午前9時～午後5時(月～金)
アイヌ文化交流センター:午前10時～午後6時

2. 休業日

(公財)アイヌ文化振興・研究推進機構:土・日曜日、祝日、年末・年始(12月29日～1月3日)
アイヌ文化交流センター:月・日曜日、祝日の翌日、年末・年始(12月29日～1月3日)

3. 申込手続から受取

裏面の申込用紙を当公益財団またはアイヌ文化交流センター事務局に提出いただき、手続きが完了しましたら、収録テープ等をお送りします。

また、送料は利用者負担としておりますので、送料分の切手を同封いただくか、または料金着払いにてお送りします。なお、切手を同封される場合には料金を下記までお問い合わせください。

4. 期 間

申込みの日から14日以内に返却してください。

5. お問合せ先

(公財)アイヌ文化振興・研究推進機構
〒060-0001
北海道札幌市中央区北1条西7丁目
プレスト1・7(5階)
TEL.(011)271-4171 FAX.(011)271-4181
e-mail: ainu@frpac.or.jp

アイヌ文化交流センター
〒104-0028
東京都中央区八重洲2丁目4番13号
アーバンスクエア八重洲(3階)
TEL.(03)3245-9831 FAX.(03)3510-2155
e-mail: acc-tokyo@frpac.or.jp

アイヌ語ラジオ講座収録テープ・ミニディスク(MD)の貸出申込用紙

*申込番号					申込日	平成	年	月	日					
*返却期日	平成	年	月	日	*返却日	平成	年	月	日					
住所	〒				氏名									
年齢	才	性別	男・女	職業										
連絡先	電話:		FAX:											
	電子メール:													
希望教室	平成10年度	札幌	千歳	平取	旭川	種類	<input type="checkbox"/> カセットテープ <input type="checkbox"/> ミニディスク(MD) <input type="checkbox"/> コンパクトディスク(CD) <input type="checkbox"/> で囲んでください。							
	平成11年度	白老	釧路	登別	静内									
	平成12年度	白糠	浦河	鶴川	帯広									
	平成13年度	白老①	白老②	登別①	登別②									
	平成14年度	白糠①	白糠②	鶴川①	鶴川②									
	平成15年度	平取①	平取②	平取③	平取④									
	平成16年度	旭川①	旭川②	旭川③	旭川④									
	平成17年度	静内①	静内②	静内③	静内④									
	平成18年度	様似①	様似②	様似③	様似④									
	平成19年度	平取①	平取②	平取③	平取④									
	平成20年度	旭川①	旭川②	旭川③	旭川④									
	平成21年度	静内①	静内②	静内③	静内④									
	平成22年度	白老①	白老②	白老③	白老④									
	平成23年度	旭川①	旭川②	旭川③	旭川④									
	平成24年度	鶴川①	鶴川②	鶴川③	鶴川④									
	平成25年度	浦河①	浦河②	浦河③	浦河④									
	平成26年度	平取①	平取②	平取③	平取④									
	平成27年度	石狩①												
	希望教室を○で囲んでください。													
	特記事項													

注1 *印の箇所は記入しないでください。 注2 団体による申込みの場合には、代表者の氏名、住所等を記入してください。

リスナーのみなさまへ

「アイヌ語ラジオ講座」をお聴きいただきありがとうございます。

この講座は、初心者向けのアイヌ語やアイヌ文化講座として放送しています。この講座の必要性やあり方などを検討するにあたり、みなさまのご意見、ご感想などをお聞きするものです。下記の質問について、該当の番号を○で囲み、その他のご意見などをご記入の上、お送りください。

のりしろ (キトリ)

※キトリ線を切り取って、封筒にして郵送ください。
※封筒を作る際はのりしろをセロハンテープ等でしっかりと貼り合わせてください。

のりしろ (キトリ)

アイヌ語ラジオ講座アンケート

(年齢 才 男・女)

I この講座についてお尋ねします。

問1 この講座をなにで知りましたか。
①ラジオ ②新聞 ③ホームページ ④ポスター・チラシ ⑤アイヌ語教室 ⑥その他()

問2 この講座を何回くらい聴いていますか。
①月に1回 ②月に2～3回 ③毎週 ④その他()

問3 この講座をいつ・どのような方法で聴いていますか。
①日曜日の本放送 ②土曜日の再放送 ③放送を録音して ④ホームページ ⑤貸出しテープ・MD

問4 この講座の放送時間(15分間)について、どう思われますか。
①もっと短く(分位) ②このままで良い ③もっと長く(分位)

問5 この講座の内容について、どう思われますか。
ア)「アイヌ語の例文紹介」について
①わかりやすい ②普通 ③わかりにくい()
イ)「アイヌ語の解説」について
①わかりやすい ②普通 ③わかりにくい()
ウ)「アイヌ文化の紹介」について
①わかりやすい ②普通 ③わかりにくい()

問6 テキストの内容について、どう思われますか。
①もっと易しく ②このままで良い ③もっと詳しく()

II これからの講座のあり方についてお尋ねします。

問7 この講座をラジオで放送することについて、どう思われますか。
①続けてほしい ②どちらとも言えない ③やめても良い

問8 現在の内容のほか、どのような話を聞きたいですか。
①アイヌ語を学びきっかけなどの体験談 ②アイヌ文化に関わる体験談 ③地域のアイヌ語・文化に関わる活動の紹介
④その他()

問9 「アイヌ文化の紹介」で取りあげてほしいテーマはありますか。
①ある a地名 b歴史 c歌・踊り d口承文芸 e儀礼 f工芸 gその他() ②ない

III その他のご意見があればお聞かせください。

のりしろ (キトリ)

※キリトリ線を切り取って、封筒にしてお送りください。
※封筒を作る際はのりしろをセロハンテープ等でしっかりと貼り合わせ
てください。

(キリトリ)

(キリトリ)

料金受取人払郵便

札幌中央局
承認
340

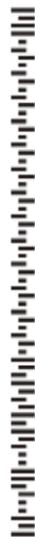
差出有効期限
平成28年3月
31日まで
●切手不要

0608788

札幌市中央区北一条西七丁目プレスト1・7 5階

公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

アイヌ語ラジオ講座担当者 行



(キリトリ)

キ
リ
ト
リ
線

(キリトリ)

会員募集のお知らせ

『賛助会員』を募集しています。

国及び北海道からの財政的な支援をいただいておりますが、法律の趣旨を踏まえ多様な事業を展開していくために運営基盤の確立が重要であります。

このため、地元北海道はもとより、全国の個人、団体や企業の方々から、幅広くご支援をいただくことが大切であると考えております。

つきましては、このような趣旨をご理解の上、賛助会員としてご入会くださいますようお願い申し上げます。

年会費

- 法人・団体／一口2万円
 - 個人／一口5千円
- ※各一口以上です。

賛助会費の用途

皆様からの会費は、アイヌ文化に関する書籍、写真、ビデオ等のライブラリーの整備など当公益財団の自主事業の充実のためにあてられます。

会員の特典

- 会員の皆様には、次のような特典があります。
- ・当公益財団が発行する刊行物等の無料配布

●寄付金税額控除について

当公益財団は、平成25年12月に国から「税額控除に係る証明書」の交付を受けておりますので、所得税を納付している場合、確定申告に必要な書類を添付することで、所得税や住民税から一定額が控除されます。

平成27年度「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.1

発行年月 平成27年4月
編集・発行 公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構